

# 「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕 事 の 内 容	スクールガード養成事業			
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係 課長名 石川 博隆

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	1 - 1	-
【施策名】 学校教育の充実	総 合 計 画 書 (ページ)	31	

予算名	款 10	教育費	項 1	教育総務費	目 3	教育指導費	事業 5	通学路等学校安全対策事業
-----	------	-----	-----	-------	-----	-------	------	--------------

1	こ の 仕 事 の 目 的	① 誰(何)を対象にしていますか。	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)
		スクールガード等、子どもの見守り活動に携わっている市民	→ スクールガード講習会の参加者数
		② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)
		見守り活動に必要な知識、技術等を習得する。	→ ①登下校時の交通事故の件数 ②学校内で児童が被害を受けた事件の件数
		③ そのために何をしましたか。	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)
		スクールガード養成講習会等を実施し、見守り活動を行っているスクールガード等のボランティアの見守り力を高め、通学路や学校における児童の安全性の向上を図る。	→ 講習会等の実施回数

2	指 標 の 推 移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
		対象指標	①の数値	人	6	28	11	/	/
		成果指標	②の数値	件	①7 ②0	①7 ②0	①3 ②0	/	/
		目 標	②の目標値	件	0	0	0	0	0
		目標値設定の考え方		スクールガードが活動することにより、児童が安全に学校生活を送ることができる。					
		活動指標	③の数値	回	1	1	1	/	/

3	経 費	事 業 費 (実績)		円	13,500	12,600	18,000	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
		財 源	一般財源	円	4,500	4,600	6,000	
			特定財源	円	9,000	8,000	12,000	
			(うち受益者負担)	円	0	0	0	
		人 件 費 (目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.05	0.05	0.05	
			所要人数(再任用)	人	0.00	0.00	0.00	
	職員人件費(再任用以外)	円	413,350	412,650	412,200			
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0			
	事業費+人件費	円	426,850	425,250	430,200			

この仕事における市の裁量 市の裁量は大きい

4	環 境 変 化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。	平成11年度までは、小学校9校13か所に学童交通擁護員が配置されていたが、平成12年度からは、信号機の設定されていない第七小学校の1か所を除き廃止された。それ以降は、地域のボランティア活動が見守り活動の中心となっている。
		開始当初と比較し、状況の変化はありますか。	
		他府県において、登下校中の児童・生徒が事故に巻き込まれる重大事故が発生したことから、通学路の安全に関心を持つ保護者が増加している。	

仕 事 の 内 容	スクールガード養成事業				
担当部署・課長名	教育総務	課	学務	係	課長名 石川 博隆

5 市民等 の 意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について				
	通学時の見守り活動や安全確保については、議会からも一般質問等を通じて適切な運営等について要望がなされている。				
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）				
	取り組んだ	取組手法	③事業協力 ⑤補助・助成		
	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）				
(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点					
特になし					
7 課 題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題(2)」の内容				
	学校により、活動団体名・活動時間帯・規模・取り組み内容等に違いがあるが、それぞれのやり方を尊重しつつ、継続した取り組みがなされるような支援を行うことが必要である。				
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。				
	特になし				
(3)(2)を踏まえた今後の課題					
各学校で組織されているスクールガードそれぞれのやり方を尊重しつつ、継続した取り組みがなされるような支援を引き続き行う。					
8 今 後 の 方 向 性	(1)仕事の方向性（「7 課題(3)」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など）				
	通学路の安全確保は重要な問題であり、地域の関心も高まっている。 今後も、ボランティアの方々の負担軽減に配慮しつつ、少しでも多くの方の見守りと活動への理解・協力が得られるように、ボランティア保険への加入への加入や教育委員会だより等を通じてボランティア活動を紹介し、募集したい。また、活動に必要なとされる知識・技術の習得と定着が図れるよう、講習会を継続したい。				
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等				
	特になし				
(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。					
成果	成果を維持する。			経費	仕事の経費は維持する。